

< () に入る言葉を書きなさい。 >

会社では、会社の中でおきる出来事を、()で
ひょうげん せんよう
表現し、専用のノートである()にどんどん書
いていきます。

次に、仕訳帳の^{じょうほう}情報を()に^{てんき}転記していきま
す。

そして、総勘定元帳から、()に転記します。
試算表には、()試算表、()試算表、合
計残高試算表の3^{しゅるい}種類があります。

試算表までできたら、ゴールは目の前です。

残高試算表の情報を、()に転記します。

精算表は、試算表の情報を()と
()に分けるための一覧表です。

では、早速作ってみましょう。

<①から⑦の仕訳を作成した上で、総勘定元帳に転記し、残高試算表を作成しなさい。その後、残高試算表をもとに精算表を完成させなさい。>

<仕訳帳>

① スーパーの会社をはじめめるために、お金持ち（株主）から10,000 円の出資を受け、現金で受け取った。

（借） （貸）

② スーパーで販売するために、農家からきゅうりを 500 円で仕入れ、代金は掛けとした。

（借） （貸）

③ ②で仕入れたきゅうりを、お客さんに 1,000 円で販売し、現金で受け取った。

（借） （貸）

④ スーパーの休憩スペースで使うテーブルを 1,000 円で購入し、支払いは翌月末とした。

（借） （貸）

⑤ スーパーの電話代 200 円を現金で支払った。

(借)

(貸)

⑥ 銀行から 2,000 円を借り入れて、普通預金に預け入れた。

(借)

(貸)

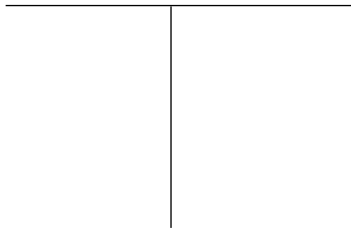
⑦ スーパーの水道代金 1,000 円を銀行引き落としで支払った。

(借)

(貸)

<総勘定元帳>

注：自分で手書きで T 勘定を必要^{ひつよう}なだけ書きなさい。)



<試算表>

残高試算表

借方 (円)	勘定科目	貸方 (円)
	現金	
	普通預金	
	備品	
	買掛金	
	未払金	
	借入金	
	()	
	売上	
	仕入	
	通信費	
	水道光熱費	
	合計	

<精算表>

残高試算表			損益計算書		貸借対照表	
勘定科目	借方 (円)	貸方 (円)	借方 (円)	貸方 (円)	借方 (円)	貸方 (円)
現金						
普通預金						
備品						
買掛金						
未払金						
借入金						
()						
売上						
仕入						
通信費						
水道光熱費						
()						
合計						